



あなたも
チャレンジ

家庭菜園



園芸研究家
成松次郎

畑仕事に便利な農具 快適で楽しい作業にするために

図1 土起こし作業



農具はかつての「村の鍛冶屋さん」が、農作業の用途や土質に適した形に作り上げた道具です。そのため地域によって形状がさまざま。そろえておきたい代表的な農具を紹介しましょう。

「土起こし作業」(図1)

荒れた畑は土が固く締まり、草の根がはびこっています。このような畑を起こすには、備中鍬か唐鍬を使います。備中鍬は3、4本の爪に分かれ、粘土質の畑でも土離れの良い刃型で、芋の掘り起こしにも重宝します。唐鍬は1枚の細身で肉厚の刃で、頑丈なので荒起こしに向きます。スコップは土を運ぶ、穴を掘る、堆肥・肥料を土と混ぜるなどに使い、先のとがった剣先スコップは穴掘り作業に、先が平らな角スコップは運ぶ、混ぜる作業に適しています。

「畝立て作業」(図2)

図2 畝立て作業



平鍬は1枚の刃が付く、耕す、整地をする、溝を掘る、畝を立てる、土寄せするなどほとんどの作業がこれ1本でできます。平鍬の背側や側面を使って、整地作業もできます。長さや重さが体や体力などに合った物を選びましょう。農具を一つ選ぶとすれば、万能の平鍬です。また、効率良く整地作業をするには、熊手のようなレーキを使います。土中の雑草の根なども除去できます。最後に、畝をきれいに仕上げるには、板切れ(端材)を使い、表面をならします。

「除草、土寄せ作業」(図3)

図3 除草、土寄せ作業



草刈りには、片手鍬、ホーとも呼ばれる半月形や三角形の軽量の鍬があります。柄が長く立ち姿勢で作業ができる三角鍬は、土寄せ、溝切りにも使えます。草刈りには平鎌を使います。伸びてきた草を片手でつかみ、鎌先を地際から手前に引いて切断します。のこぎり鎌は、堅い草を刈るのに向いています。

ブロッコリー

問題

ブロッコリーについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- 1 茎の頭の部分にできる大きな花蕾を収穫するタイプのブロッコリーを頂花蕾型と呼んでいる。
- 2 花蕾の形成・発育には冷涼な気候が適し、中・晩生品種では10〜15度が適温である。
- 3 根は浅いが吸水力が強く、乾燥に対しては比較強い野菜である。
- 4 花蕾の間に小さな葉ができるリーフィーヘッドは、花蕾の発育中に連続して15度以下の低温に遭つと起こる発育障害である。

解答

正解は④です。

解説：花蕾の間に小さな葉ができるリーフィーヘッドは、花蕾の発育中に高温(30度以上)に連続して遭つと起こる発育障害です。現在、一般的に販売されているのは頂花蕾型です。側花蕾型の中には茎の長さが15〜20cmで細長い形となり、茎が柔らかいことが特徴の茎ブロッコリー「スティックセニョール」などがあります。



図：リーフィーヘッド

● 日本農業検定事務局

日本の「農」と「食」を学ぶ

『新版 日本の農と食を学ぶ 中級編』

(106〜107ページ)より